

## 新第3章 将来都市像（たたき台）

多摩市ではこれまでに「太陽と緑に映える都市」（第一次～第三次）、「市民が主役のまち多摩」（第四次）、「みんなが笑顔のちにぎわうまち多摩（第五次）」を将来都市像として掲げ、まちづくりを推進してきました。これらの都市像を踏まえた上で、第六次総合計画においては、将来都市像を次のように定めます。

みんながそれぞれの安心と成長をずっと続けられるまち たま

この総合計画を通じて目指すところとして、将来都市像に込めたキーワードとその考え方は以下の通りです。

分類	キーワード	考え方
目的	成長	経済成長だけでなく、市民それぞれが自分を高め、目標を実現できていること。 市民が強く、自分で考え、これからの時代を生き抜いていけること。 市民に加えてまちも未来に向かって新しく成長していくこと。
	安心	安全で安心して快適に暮らすことができること 今あるコロナ禍や社会経済問題、環境問題などを不安に思わなくてもすむこと
特徴	多様性	市民が世代、性別・性的指向、障害、国籍、価値観などの多様性を互いに認め合い、目標に向けて取り組んでいること。 誰もが自身の考える成長と安心を目指していること。
方法	循環	成長と安心を実現するための取組が巡りまわってこれからもずっと続いていくこと。 自然・文化などを含め、これまでの成果を受け取り、将来にも受け継いでいくこと。
	関係・場	成長と安心を実現するために、市民同士みんなで思いやり、支えあい、協力して取り組む共助の関係性や場があること。 また、全ての市民が集まり、外からも人が集まってくること。